

【編集後記】

日頃は熱測定学会の活動・運営にご協力下さり、ありがとうございます。梅雨空のもと、この時期特有の何とも言えない鬱陶しさを感じつつ筆を執っておりますが、これもまた移ろいゆく四季の狭間の一頁かと思うと、この鬱陶しさも妙に趣深く感じられるのは何とも不思議なところですよ。

さて今号には、2022年度熱測定学会学会賞を受賞された山室修先生（東京大学物性研）にご執筆いただいた受賞記念記事を含む4編の解説記事が掲載されています。ご多忙にもかかわらず本誌のためにご寄稿いただいた執筆者の皆様には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。山室先生の受賞記念記事では、ご自身の研究に基づいて、中性子散乱測定と熱測定の相補的利用の有効性についてとても分かりやすく解説されています。私事で恐縮ですが、山室先生の解説記事が掲載された6年前の同じ学会誌に筆者の解説記事も掲載されており、先生の学会賞受賞記念記事が掲載される今号で編集後記にて再び一緒できたことには不思議な縁を感じております。早乙女友規先生（長岡技術科学大）の記事では球状タンパク質の高温での可逆的オリゴマー形成について、山岸賢司先生（日本大学）・坂本泰一先生（千葉工業大）の記事では核酸医薬品として高いポテンシャルを持つ核酸アプタマーとそのターゲット分子の相互作用の熱力学的解析について、小門憲太先生（豊田工業大）・阿南静佳先生（豊田工業大）・佐田和己先生（北海道大）の記事ではトポケミカル重合と包接重合の特徴を併せ持つ第三の新規結晶重合について解説されています。全体を眺めてみると、本学会ならではの特徴でもありますが、記事の内容が分野横断的に多岐にわたっていることがよくわかります。「四季」に例えるならば、「四季折々の風情」という個性（独創性）や良さ（有意性）が感じられる素晴らしい解説記事、という表現になるでしょうか。読者の皆様にもぜひその「風情」を堪能していただければ幸いです。本号が会員の皆様のお手元に届くころには、快晴の空が広がる夏が到来していることでしょう。

（玉井 伸岳）

【複写される方へ】 Notice about photocopying

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写して下さい。但し（社）日本複写権センター（同協会より権利を再委託）と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません（社外頒布用の複写は許諾が必要です）。

権利委託先：（中法）学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル, TEL.03-3475-5618, FAX.03-3475-5619, E-mail: info@jaacc.jp

なお、著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡ください。また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc., 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, U.S.A. FAX. +1-978-646-8600

2023年度「熱測定」編集委員会

（委員長）京免 徹

（編集委員）神山 匡，神崎 亮，島本 茂，玉井 伸岳，高橋 仁徳，廣瀬 雅子，堀井 洋司

（拡大編集委員）川上 亘作，川田 友紀，鈴木 晴，古島 圭智，松木 均，山下 智史，吉田 慎一

熱測定 Vol.50, No.3, 2023

昭和 52 年 5 月 27 日 第 4 種郵便物（学術刊行物）認可

2023 年 7 月 20 日 印刷

2023 年 7 月 25 日 発行

発行人 日本熱測定学会 中澤 康浩

事務局 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-6-7 宮沢ビル 601

TEL. 03-5821-7120 FAX. 03-5821-7439 E-mail: netsu@mbd.nifty.com

熱測定原稿 E-mail: edit@netsu.org

学会ホームページ <https://www.netsu.org/JSCTANew/>

郵便振替口座 00190-5-110303